かながわサッカービジョン

KANAGAWA SOCCER VISION

2016.7.16 改訂

FOOTBAL ASSOCIATION KANAGAWA JAPAN

理念

愛を何よりも大切にします。

親や家庭を、郷土や母校、チームを、そして国を愛する心は、人の精神力・行動力の原点です。愛する心の強い人は、自分のことしか考えていない人より、はるかに強い力を発揮できます。

プレーの精神（遊び心）を大切にします。I Play Soccer！

サッカーを楽しみましょう！楽しんでこそサッカーが好きになり上手になります。

フェアプレーの精神を大切にします。
そしてみんなの夢を応援します。

フェアプレーの精神こそ情操教育の原点です。人を思いやり、協力し合ってこそ、すばらしいチームワークが発揮されます。

以上の三つの精神を大切にして、サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の健康増進を願い、地域に根付いた活動を通じて社会的発展に貢献します

基本方針

神奈川の「歴史」と「地の利」を生かし、国際的視野に立ち、
サッカーを通じて人々の成長に貢献します。
また、サッカーを通じて県民の生涯スポーツの発展および
健康増進に寄与します。

以上の活動を通じて県民に信頼されるサッカー協会を
目指します。

使命１

社会貢献活動の推進と青少年の健全な育成を目指します。

（１）リスペクト、フェアプレーを徹底します。
サッカーによって育まれるリスペクト（大切に思うこと）、フェアプレー精神を少年の逞しい成長に役立てます。今日的な課題である暴力根絶やフェアプレーの推進については、あらゆる機会を通じて啓発活動に努めます。

（２）国際感覚をもったスケールの大きな青少年の育成をめざします。
ボランティア活動等を経験することにより、社会に積極的に貢献することのできる青少年を育成するとともに、国際交流を積極的に推進し国際感覚をもった青少年を育成します。

（３）生涯にわたってスポーツ（サッカー）を楽しむことのできる環境をつくります。
グラスルーツ（キッズからシニア、女子、障がい者等）のスポーツ（サッカー）の普及についても支援・協力を推進します。
親や家庭を、郷土や母校、チームを、そして国を愛する心は、人の精神力・行動力の原点です。愛する心の強い人は、自分のことしか考えていない人より、はるかに強い力を発揮できます。

使命２

一般社団法人としての経営基盤を確立し、安定した事務局運営と財源の確保に努めます。

（１）事務局の機能を充実させ、より組織的な運営を目指します。
役割分担を明確にし、人材の確保、育成を目指します。

（２）財源の確保と事業の拡大・充実を図ります。
企業や団体との連携を推進するとともに、事業の拡大・充実を図ります。
また、県フットボールセンター（かもめパーク）の設立に伴い、県協会として各企業とのパートナーシップシップを結ぶなど、より安定した経営と組織的な運営を目指します。
さらに、国際大会、国内大会（天皇杯、皇后杯、その他）を積極的に招致します。

使命３

神奈川県グリーンプロジェクトを推進するとともに、サッカー施設の拡大を目指します。

（１）小学校をはじめ学校の校庭を芝生化するなど、神奈川県グリーンプロジェクトを推進します。

（２）神奈川県フットボールセンター（かもめパーク）を活用し、選手の育成強化と指導者・審判の養成を図り、地域に愛される施設を目指します。

（３）サッカーのできる施設を確保・増設します。
自治体、民間、学校体育施設等のスポーツ施設の有効活用を推進するとともに、市町村の各施設にサッカーゴール（少年用、フットサル）を寄贈するなど、関係施設の充実を図ります。

使命４

学校教育との連携を推進します。

（１）学校（中学校・高校）の運動部活動を活性化する支援制度を充実します。
公認指導者の協力を仰ぎ、中学校や高等学校へ派遣し、運動部活動の活性化を図ります。

（２）地域社会との連携を推進し、スポーツ（サッカー）活動への理解を求め、青少年の健全育成を推進します。

（３）県及び市町村教育委員会との連携を深め、公的施設の活用を図り、指導者情報の共有化を推進します。

（４）「こころのプロジェクト」を推進し、子どもたちの夢を大きく育てるとともに、健全な青少年の育成に貢献します。

使命５

県内の市町村協会やクラブチームの活性化に向けた連携・協力を推進します。

（１）市町村協会との連携・協力を推進します。
市町村の指導者や選手との交流の活性化及びサッカーファミリーの拡大のための協力体制を推進します。また、市町村協会との交流を深め、キッズ、女子サッカーの普及・発展に積極的に取り組みます。

（２）クラブチームの活性化に向けた連携・協力を推進します。
総合型地域スポーツクラブの設立等、会場確保の協力などクラブチームへの支援活　動を積極的に行います。

使命６

Jリーグとの連携強化を図ります。

（１）Jリーグとの連携事業の拡大を図ります。
Jリーグとの協力による各種事業の実施や国体、トレセン、指導者養成事業において、協力体制を構築します。
また、県サッカー協会とJリーグ代表者との情報交換を定期的に行い、Jリーグとの協働事業を推進します。

使命7

指導者育成システムの充実と指導者の資質の向上を図ります。

（1）神奈川県の指導者育成システムの充実を図ります。
フットボールカンファレンスやリフレッシュ研修会を実施するなど、指導者育成を充実するとともに、日本サッカー協会の育成・強化の考え方にベクトルを合わせた指導をします。

（2）公認指導者養成制度を拡充し、有資格の拡大をめざします。
公認指導者養成講習を充実させ、県サッカー協会の登録チームに有資格者指導者を配置し、指導者が選手のレベルに応じた指導ができることをめざします。
また、県協会として公認B級指導者講習会を開催するなど、県独自の取り組みを活性化させます。

（3）神奈川の特色を生かした指導者研修会を実施します。
JFAのカリキュラムに神奈川の特色（方針・理念・使命）を加味して行います。

使命８

審判員育成システムを充実し、審判員の資質向上を目指します。

（１）審判員の育成システムを充実させ、技術との連携・協力を推進します。
審判員の資質向上と逞しい選手の育成に向けて、審判と技術の研修会を実施し、情報を共有するなかで、県サッカー全体のレベルアップを図っていきます。

（２）審判員の拡大を推進します。
県協会登録チームに複数の審判員を配置し、円滑な試合運営と的確なレフェリングによる試合を実現します。また、女性審判員やユース審判員の育成に力を注ぎ、サッカーの活性化にも貢献します。

（３）神奈川の特色を生かした審判員研修会を実施します。
県の特色である審判員の育成システムを充実・発展させ、より独自性を発揮します。また、講習会では、体力トレーニング等を行う際に救急救命士を帯同させるなど、人命を尊重した取り組みを行います。

（４）世界的な大会で活躍する審判員を育成します。
現在、県から国際主審や国際線審が生まれており、今後も国際審判員の育成を視野に入れて、将来性のある審判員を発掘・育成します。

使命９

トレーニングセンターの活動を充実させ、地域、年齢別の
カテゴリーを効果的に育成します。

トレーニングセンターの活動では、指導者が世界基準を明確に示し、県の指導方針を踏まえた指導を実践します。

使命10

サッカーを通じた国際交流を推進します。

（1）海外キャンプ及び指導者の国際交流を推進します。
現在、U14トレセン（男女）の海外キャンプを毎年実施していますが、今後も積極的にチーム、指導者等との海外交流を実施していきます。

（2）県の特色を生かした国際交流大会を実施します。
2002年日韓ワールドカップ決勝開催の地として歴史を生かし、外国のチームを招待して県の特色を生かした国際的な大会を実施します。

使命11

「夢」を具現化します。

サッカーを愛する仲間の「夢のある提言」に耳を傾け、その具現化に努力していきます。
2014年12月5日に神奈川県フットボールセンター（かもめパーク）がオープンしました。
これは、我々の長年の夢が具現化されたものです。
今後も、県サッカーファミリーの繋がりを基盤にして、素晴らしい夢を実現していきます。